

「気候変動と里海保全」開催概要

(令和7年度 漁場生産力・水産多面的機能強化対策シンポジウム)

水産業と漁村には、国民の皆様に新鮮で安全な水産物を安定的に供給する役割の他、藻場や干潟等の沿岸環境、河川環境の保全、監視活動や海難救助活動、環境教育の場の提供など多面的な役割があります。

しかしながら近年、漁村の人口減少や漁業をめぐる状況の変化により、これらの多面的な役割を果たすことが難しくなっています。このため、全国の約700のグループが、国と地方公共団体の支援のもと「漁場生産力・水産多面的機能強化対策」を活用し、これらの多面的な役割を発揮するための活動に取り組んでまいりました。

本シンポジウムは、「漁場生産力・水産多面的機能強化対策」の一環として、全国の先進的、効果的な取組を行うグループにこれまでの活動の成果や課題について報告いただき、他のグループの参考としていただくとともに、広く一般の皆様にもこの取組へのご理解とご協力をいただくことを目的として開催するものです。

■主催：水産庁

■主管：全国漁業協同組合連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、全国豊かな海づくり推進協会

■会場・日程：

会 場	東京大学 伊藤国際学術研究センター 伊藤謝恩ホール（東京都文京区本郷7-3-1）
日 時	2026年1月31日（土）11:00～15:40（10:00 開場）
会場定員	300名（事前登録制）
参加方法	来場またはウェブ（Youtube）視聴 ※YouTubeの配信URLは、後日、ひとうみ.jpへ掲載します

■参加対象：

- (1) 水産多面的機能強化対策に参加する活動組織とその構成員
- (2) 関係都道府県、市町村及び地域協議会の事業担当者
- (3) 市民活動や環境問題等に興味のある学生（高校生・専門学校生・大学生）
- (4) 教育関係者（小・中学校、高等学校等）
- (5) 水産多面的機能発揮対策に興味のある個人、団体、企業等（一般）

問い合わせ先

全国漁業協同組合連合会 関根・片瀬・野口

電話：03-6222-1315

E-mail：info@hitoumi.jp FAX：03-6222-1361

■プログラム

時刻	内容	備考
10:00～	開場・受付	
11:00～	開会、挨拶、オリエンテーション	挨拶：JF 全漁連 水産庁 司会：JF 全漁連
基調講演（45分）		〈コーディネーター〉 ・鹿熊 信一郎 氏 (佐賀大学 海洋エネルギー研究センター)
11:15～ 12:00	演者：国立研究開発法人 水産研究・教育機構 堀 正和 氏	
12:00～	休憩(1時間30分)	
活動グループによる発表（発表15分、質疑応答5分）		
13:30～ 14:50	〈藻場の保全〉 諸磯藻場保全活動組織(神奈川県三浦市) 宿浦藻場協議会(三重県南伊勢町) 日生藻場造成推進協議会(岡山県備前市) 〈干潟の保全〉 通津アサリグループ(山口県岩国市)	
14:50～	休憩(10分)	
講評・意見交換（30分）		
15:00～ 15:30	〈コメントーター〉 ・中嶋 泰 氏 (オフィス MOBA 代表) ・藤田 大介 氏 (海藻資源リサーチ 代表 元 東京海洋大学大学院 准教授) ・桑原 久実 氏 (東京久栄株式会社 技術本部 顧問) 〈発表者〉 活動報告を行った発表者が登壇します	
15:30～	閉会	

※発表者・コメントーターは変更する場合があります。

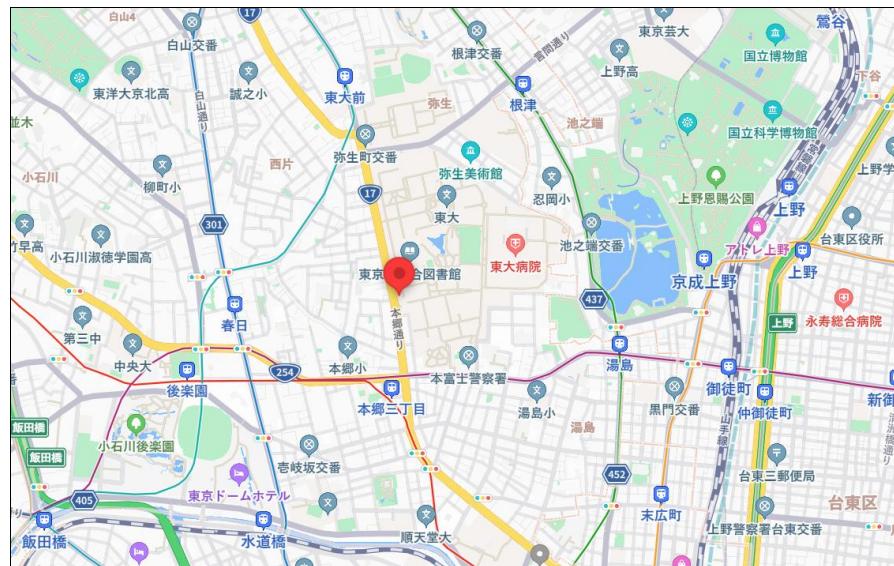
※感染症対策等のため、リモートでの発表となる場合があります。

■ポスター展示（テキストにも収録、活動組織は現時点での予定）

＜環境・生態系保全、海の安全確保の事例＞

活動組織名	地域	主な活動内容
階上地区磯焼け対策部会	宮城県気仙沼市	藻場の保全
姫島地区藻場保全活動組織	大分県姫島村	
浜中地区干潟保全活動組織	北海道浜中町	干潟の保全
滑石漁場保全活動組織	熊本県玉名市	
知内水域監視活動組織	北海道知内町	海の監視ネットワーク強化
新勝浦市漁協浜行川藻場保全グループ	千葉県勝浦市	地域との連携・教育
あいら藻場・干潟再生協議会	鹿児島県姶良市	

■アクセス



【伊藤国際学術センターまでの所要時間】

- ・本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）から徒歩8分
- ・本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）から徒歩6分
- ・湯島駅（地下鉄千代田線）から徒歩15分
- ・東大前駅（地下鉄南北線）から徒歩12分

※現在、赤門は修繕工事中です。
隣接する門(右図)よりご来場ください。



↑ こちらの門より構内へお入りください。